

神奈川総合産業高等学校令和7年度 必読書・推薦書リスト

先生方が選んだ高校生におすすめの本

NDC	書名	作者名	出版社	
913	償いの椅子	沢木冬吾	角川書店	車椅子に頼る身でありながら、もの凄く強く、格好いい。読み始めは、警察関係者の不穏な動きの中で立ち回る主人公を、遠目から見ていたはずが、いつの間にか物事が目の前で起きているように感じ、読み止められず興奮しながら読んだことを思い出します。映画やテレビドラマにならないかなあと思いながら、読み終わりには少々疲れた記憶がある....
726	転がる姉弟	森つぶみ	小学館クリエイティブ	父親の再婚で小学生の弟ができることになった女子高生の宇佐美みなとか、弟のやんちゃぶりに四苦八苦する姿に心が温まり、ときにはうるつてくる感動ありの家族の大切さがとても良く伝わる、いやされるコミックです。
913	チルドレン	伊坂幸太郎	講談社	いろんな意味で型破りな家庭裁判所調査官、陣内の周りで起こる様々な出来事(事件)が5つの短編として描かれています。語りの視点が短編ごとに変わるので、次々と新鮮な感覚で読み進めることができますよ。
726	あつかったらぬげばいい	ヨシタケシンスケ	白泉社	仕事や勉強で忙しく過ごしていると心にゆとりがなくなり、些細なことでも、イライラしたり、怒ったりしてしまいますよね。そんな時にこの本を読んでみて下さい。少し心にゆとりがで、見える世界が変わってくると思います。
299	風のことは風に問え	辛坊治郎	ニッポン放送	この本は、辛坊治郎氏がヨットで太平洋を往復横断した冒険譚です。彼は無謀ともいえる挑戦を受け、成功を収めました。この本は、勇気と決断力を称賛し、読者に人生の挑戦を受け入れる勇気を与えてくれます。
914	たゆたう	長濱ねる	KADOKAWA	冒頭にこんな自己紹介があります。「よくエゴサをし、自分の悪口を探す」「(繊細だが、)周りに“繊細さん”と思われるのが嫌で、つい社交的に振る舞つてしまったりする」これらに共感した人はぜひ読んでみてください。きっと心の支えになります。一方で共感できなかつた人にも一読するのをおススメします。きっと自分の言動を反省する機会になると思います。
361	いじめをやめられない大人たち	木原 克直	ポプラ社	本を読むことは、自分の知識を広げること、つまり自分の可能性を広げることにつながります。高校卒業後、様々な問題や悩みに直面することでしょう。その時に、必ずしも的確なアドバイスをしてくれる人がそばにいるとは限りません。この本は、人間関係でのトラブルについて、事例をもとに解決案を提案しています。皆さんの悩みを開拓するための可能性となってくれるかもしれません。
782	フツーの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉	原 晋	アスコム	ビジネスとして大切なこと、「人と組織」を強くするうえで大切なこと、この2つを合わせたからこそ、青学は毎年強いんだとうなづくことができます。読んでいて、元気づけられる言葉が沢山入っているので、是非読んでみて下さい。

312	13歳からの地政学:カイゾクとの地球儀航海	田中 孝幸	東洋経済新報社	面白くてイッキ読みできた!!「地政学」とは 何?と思ったのがきっかけで読んでみたが、大人でも勉強になることがたくさん書いてあった。国どうしの利権だとか、歴史問題の本質 とか……。「なるほど、そうだったのか!!」と何か世界の国々のこと分からぬ、知りたいと思ったときに読むと、人間レベルが上がった気分になれる本。
913	君に光射す	小野寺 史宜	双葉社	人のあたたかさを感じたいときに読むとよい。だれか助けたくなるかも。
914	ないもの、あります	クラフト・エヴィング商會	筑摩書房	とても変わったお店の話。ないものを扱っている。よく会話で聞くあの商品たちを面白おかしく紹介しています。社会に飛び立っていくみなさんに少しの知識とちょっとしたユニークさを与えてくれます。
159	経済評論家の父から息子への手紙—お金と人生と幸せについて	山崎 元	Gakken	おカネの話が苦手な私ですが、山崎元さんの文章は軽妙で読みやすく、スッと頭に入って来ます。「他人よりも2割増しくらいを目標に自由を拡大しようとしてみる」「時間というサンクコストを見落とすな」「最初の仕事は興味が持てて、倫理観に 反しないもの」等、うなずける金言満載。 若いうちに読める皆がうらやましい!!
913	店長がバカすぎて	早見 和真	角川春樹事務所	この本は、書店の契約社員が日常働きながら店長や同僚の先輩・後輩・来店客・出版社や作家に囲まれての内容で、現実にあるあると思ってしまいます。最終話は、作家の謎解き、店長の正体は?と追求となり、読むと次はどうなるの?とハマります。
913	サッカーボーイズ	はらだ みづき	角川書店	サッカーを通して成長していく少年たちのリアルな姿を描いたスポーツ小説。傷つき、悩みながらも、友情を深めて前へと進んでいくサッカー少年たちの話。試合を観戦しているような描写がとてもリアルで、サッカーが好きな人には是非見てほしい。青春時代の葛藤や夢を追いかけるエネルギーを感じたい人にもおすすめ。
913	宙わたる教室	伊与原 新	文藝春秋	定時制高校科学部が舞台の物語です。定時制高校に科学部を作った先生と、それぞれ事情を抱えた生徒たちが、研究を進めていきます。工夫を重ね、仲間とともに様々な課題を乗り越えて、前進していく姿と結末をぜひ見届けて欲しいと思います。この物語は実話に着想を得て書かれた作品とのことです。2024年ドラマ化されました。